

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 31年 2月 21日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3495000022		
法人名	社会福祉法人誠心福祉会		
事業所名	誠心園グループホーム		
所在地	737-2124 広島県江田島市江田島町宮ノ原3丁目18番66号 (電話) 0823-42-6177		
自己評価作成日	平成31年1月25日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3495000022-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成31年2月13日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

建物は自然のエネルギーを利用するジオパワーシステムを導入したエコ住宅を造りました。別棟にある多目的棟では、イベントを開催したり、利用者様地域の方との交流の場としています。周りはミカン畑に囲まれて、庭では季節を感じることでできるさくらんぼ、かき、いちじくが植えてあり、利用者と一緒に収穫し皆で食べたりして季節をあげています。外出行事も外に出るときマンツーマンで出かけその人にあったプランで買い物食事を行っています。職員は、笑顔で優しく家族のように寄り添える支援に力を入れています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

管理者、職員は、日頃より何気なく発した言葉や声かけ「ちょっとまってね」「座ってて」などの言葉が日常的に出てしまわないよう全職員で「スピーチロック表」を作成して意識することで、利用者によりよいケアを提供されている。職員の言動は、利用者の生活環境の一部を司っていると考える職員のイライラした言動は、利用者の行動障害（BPSD）や不穏な状態を引き起こす原因となる点と踏まえて、普段のご利用者との関わりの中から、利用者と共に寄り添い心穏やかに同じ時間を過ごし、その時の利用者のしぐさや言葉や行動などから気付きを得るケアの質の向上へと向かい職員が長く勤めることのできる安心した職場の環境づくりに取り組まれている。

自己評価	外部評価	項目(ひまわり棟、我が家棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「普通で当たり前の生活、我が家のように」を第一に事業所として、職員全員が口に出せるよう実践に向け日々取り組んでいる。	法人の理念を大切にしており、理念をより具体化したグループホーム目標と合わせて職員で周知され、理念を玄関に掲示して職員への浸透を図っており、職員は理念を理解して日々の実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の方たちとは、気軽に挨拶できる関係作りができています。事業所の行事には近隣の方たちに参加して頂いたり、みかん狩りをさせていただいたり交流を深めている。	併設の特別養護老人ホームがあり、法人運営に関する地域住民の関心や理解は高く、交流は活発に行われており、地域のお店へ買い物に出かけたり、地域住民をホームに招く交流行事「米軍サンタ・ケーキバイキング・餅つき」等多くの方の参加を得ている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	実践を通じて（会議での現状報告、行事参加）支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議で利用者の状況報告を行い事例をあげ報告を行い、現状を理解して頂いたり、意見、家族の思いを聞き出来る限り利用者、家族の思いに沿ったサービスができるよう努めている。	法人、理事長、園長、利用者の家族、民生委員、自治会長、地域包括支援センター職員、市介護福祉課職員、事業所の管理者、職員の参加がある。事業所の活動報告等の後、意見交換を行い、出された意見は運営に活かしている。議事録は家族に郵送して会議の内容を共有している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	事業運営をするうえで困ったことや疑問点があった時には担当者と連絡を取り合い、相談をしたり、指導を受けている。	市の担当課とは書類の提出や様々な情報交換などで関わりを持ち、協力関係を構築すると共に、運営推進会議の参加や広報紙等、ホームの状況を知ってもらう機会を持ち、関係づくりに向けて働きかけている。	

自己評価	外部評価	項目(ひまわり棟、我が家棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人として委員会を設置し年2回研修を行っている。事業所内で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。わからないことは委員会に相談したりスピーチロック表などを用いて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。また身体拘束をしないための支援を行なえるよう職員のレベルアップの為指導したり研修に参加している。</p>	<p>身体拘束委員会を中心に勉強会を行い、身体拘束の弊害や身体拘束のないケアの重要性について理解を深め、日中は玄関の施錠をせず、利用者の自由な生活を支援しており、「スピードロック表」を活用して利用者への言葉かけや対応で気になることは職員間で話し合い、振り返りを行っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>法人として委員会を設置し年2回研修を行っている。管理者や職員は、高齢者虐待防止法等の研修に参加し、参加していない職員には資料を配布し申し送り時ミーティングを行い周知徹底し、あざなどないか確認をするよう呼びかけ防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>法人で研修会を行っている。マニュアルを作成し職員でミーティング時に話し合いをしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居前居宅のケアマネージャーからの情報収集を行い、不安や疑問点の解消に努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者の意見は寄り添う支援を行っているのでその都度聞き取り、家族等の意見は面会時や電話での対応時間聞き取り、運営会議等で話し合う機会を設け、運営に反映させている。</p>	<p>普段から家族が意見を出しやすい雰囲気作りに努めており、面会時や電話、運営推進会議など、様々な機会を通じて意見を聞いている。出された意見、要望は申し送りノートに記載して職員間で共有し、必要に応じてユニット会議で検討して運営に活かされるよう努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(ひまわり棟、我が家棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>運営等に関する職員からの意見や提案についてはその都度機会を設け反映の為の努力をしている。</p>	<p>管理者との個別面談を通じて、利用者のケア方法の検討や、業務内容の変更などについて、日常的に管理者と意見や提案が伝えられるなど風通しの良い関係ができており、職員から出された「家庭的な雰囲気の中で過ごして貰いたい」と制服を無くして普段着となり職員の声が発言に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>法人独自の評価があり目標や評価を見直す機会がある。個人面接を行ったり、資格取得に向けた支援を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員の経験年数や力量に合わせ外部研修会への参加を実施している。また法人全体への研修委員会にも積極的に参加している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域で開催されている研修や勉強会に参加して同業者とのネットワークを広げサービスの質の向上に努めている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>サービスの利用を開始する前に本人の情報収集を行い、本人が困っていることや、不安なこと、要望等に耳を傾け、サービスを開始する段階で、安心して生活できるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(ひまわり棟、我が家棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>サービスの利用を開始する前に、家族からの情報収集を行い、要望に耳を傾けながら、関係作りに努めてサービスの提供に活かしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>相談内容を整理し必要なほかのサービスも検討しながら、本人 家族に最適な方法か検討して対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>職員は、我が家のように、家族の一員として捉え、暮らしを共にする関係作りのために一緒にお茶 食事をしたりテレビを見たり横に座って一緒に軽作業に取り組むことで支えあう関係が築かれている。相談にのったり家族への代弁者になり連絡を行ったり安心して生活していただける関係作りを築いている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>職員は面会に来られる家族と利用者の間に入り双方の思いを伝え、連携をとり、家族と職員が共に本人を支えることを理解して頂けるよう努力している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>馴染みの美容院へは家族と共に行かれたり、病院へも受診したりと関係が途切れないようにしている。また正月やお墓参り、法事等があるときは家族に連絡をいただき帰宅できるよう声掛けをしている。</p>	<p>昔からの地域行事「江田島フェスティバル・JA呉まつり」等、参加され、近所の方との交流や地域で過ごした利用者それぞれの馴染みの人間関係が続くよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(ひまわり棟、我が家棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係を把握し、身体、精神状態、性格を考慮しテーブルの位置や、居室を工夫している。本人の時間に合わせホールでの談話時間を増やすようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス利用が終了しても、可能な限り家族の相談に乗ったり継続的にかかわりを持つように努めている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	各受持ちが主となり、コミュニケーションを取り本人の希望、意向を知るために会話支援に時間をかけ、また情報収集を行い、担当者会議時に検討して、本人の思いに添えるよう努めている。	各利用者の担当職員者が、入浴時など、日頃のケアの中で利用者が話しやすい場を作り、意向を聞き一人ひとりの状況に合わせて、生活で実現したい具体的な意向の把握に努めている。個々の意向を踏まえて支援した結果、本人のやる気が引き出され、状態が改善された事例もある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前に情報収集を行い、生活歴や思いを把握するよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	生活日誌に食事量、排泄、入浴、睡眠等を記入し、心身状況を把握する。日常時の観察で能力を把握し安心して暮らして頂けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目(ひまわり棟、我が家棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人、家族、職員の意見をまとめて計画作成、必要に応じたカンファレンスを行いながら、計画修正を行っている。定期的にモニタリングを行い計画に反映させている。</p>	<p>可能な限り家族と面談時に話し合いの場を持ち、本人や家族の意向をもとに各担当職員と計画作成担当者が担当者会議において検討して介護計画を作成している。計画の内容は職員全員が把握しており、実施状況を記録して、モニタリングを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>毎日個別の記録を行っている。申し送りを通して情報の共有をし、ケア方法を変更したり再検討をし介護計画の見直しをしている。</p>	/	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>隣接している特養やデイサービスの趣味活動に参加、本人の意向を聞きながら柔軟に対応している。</p>	/	
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>消防署立ち合いの下、防災訓練を行っている。ボランティアの方に行事に参加して頂いている。又地域の方に協力して頂きみかん狩りをさせていただいたりケーキバイキングに参加していただき利用者様と一緒に過ごして頂き会話援助等をして頂いている。</p>	/	
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人家族からの希望を大切にしかかりつけ医への受診援助を行っている。2週間に1度歯科医の往診を受けている。</p>	<p>事業所の協力医の往診を希望する方は、事業所で対応を行っており、それ以外の医療機関を受診する場合は家族に対応をお願いしているが、利用者の状況に応じて職員も付き添うこともある。受診結果については、その都度、管理者が家族に報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(ひまわり棟、我が家棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	利用者の体調の変化や異常時には事業所内の看護師に相談することができる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の福祉担当者と連携を取り 情報交換を行っている。入院先に様子見に行き本人の状態を聞いたり、退院に向けても相談、退院後の対応法を相談したり連携をとっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化に向け契約時に本人、家族と話し合いを行う。特養入所申し込み等も行ってもらっている。急変時に備え特養と連携を図りまた本人のかかりつけ医とも連携がとれる体制がある。	契約時に、「重度化した場合における対応および看取りに関する指針」について説明、同意を交わしている。状態変化に応じて今後の方向性について家族、主治医と相談し、協力病院や併設の特別養護老人ホームとは移行する等の連携が取れている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時には医師、看護師に連絡をし指示を仰いでいる。救急時の応急処置、心肺蘇生の方法を消防署より指導を受けている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防隊員立ち合いの下防災訓練、運営推進会議にて消防隊員からの災害時の対応について説明を受けている。	夜間の火災を想定した避難訓練を含め、年2回実施されている。併設特養からの応援体制や近隣の住民の協力体制がある。昨年の7月の豪雨の体験からの気づきを積み重ね、職員間で共有し、災害時に対応できるよう夜間災害時の連携、避難体制、備蓄などの対応も行われ、災害支援施設、避難場所として有事に備えている。	

自己評価	外部評価	項目(ひまわり棟、我が家棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	排泄、起床時の清拭を羞恥心のあるかたには本人自身で対応していただき、介助の必要な方は出来るだけ距離を置いて配慮している。訪室時のノック、声かけを行い了解を得て入室している。プライバシーを損ねない為に個別での会話支援を行なっている。	職員は常に自分を利用者に置き換えて、「自分がして欲しくないこと」「言われたくない言葉での声かけ」等を行わないように徹底され、不適切な言葉かけがあった場合は、職員間で注意し合える関係性が築かれている。又、一人ひとりの排泄状況を確認し、適切な排泄の時間誘導が行われている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	出勤時には両方の棟にあいさつにいき、身体の様子を聞き、何気ない会話から入り話しやすい環境作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居前の日々の暮らしに沿って出来るだけ近ずけられるように、嗜好、習慣等を念頭に置いて個別支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時整容を行っていただくようお願いし、できていない方は鏡の前で行ったりしている。服装も季節に合ったもの本人の好みのものを一緒に選んだりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	朝食は、ぱん、ごはん希望の物を提供している。季節や行事に合ったものを提供して盛り付けを一緒に行ったり、昼食も一緒に食べている。片付けは、できる方がほかの方の下膳されたりお血拭き等を出来る範囲で手伝って頂いている。	ご利用者にも野菜の皮むき・盛り付けなどの準備、食事の片付けも協力してもらっており、一緒に昼食をとり、共に食卓を囲みながら、楽しく食事できる雰囲気づくりに取り組まれている。また、ご利用者の要望に応じて外出に出かけたり、食事が楽しみなものになるよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目(ひまわり棟、我が家棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎回摂取量は記録している。水分に関しては体調に合わせてOS1やポカリ等に変更して、食事量の少ない方は医師に相談して栄養補助食品を処方して頂いている。食事形態を工夫して食べやすい状態にしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>口腔ケアに力を入れ毎食後口腔ケアをしていただいている。介助の必要な方には口腔ケアブラシ、スポンジを用い誤嚥性肺炎の予防に努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>紙パンツの使用は出来るだけ避けて布パンツの使用にしている。パット使用は同じものばかり使用せずどれが必要か検討している。個人の排泄パターンを把握したうえでその人に合ったものを選んでいく。</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンを把握し、その方の様子や動きを見ながらタイミングで声かけ、自尊心を傷つけないよう見計らってトイレでの排泄を促している。利用者の仕草から早目の声かけをすることで失敗が改善されるなど、できるだけトイレで排泄できるよう支援している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘の方にはオリゴ糖を飲んで頂いている。排便コントロールの為に定期的に整腸剤を医師に処方していただいている。廊下を歩いていただいたり、100歳体操、みんなの体操を曜日ごとにわけ行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>身体状況により入浴をしていただいている。希望にあわせ出来る限り本人の思いにあわせ入浴していただいている。個々に応じた入浴を行える為、希望を聞いている。家庭的な檜風呂でゆっくり入浴していただいている。</p>	<p>入浴は利用者のその日の過ごし方や希望に応じて、可能な限り時間にとらわれず対応している。ゆっくり職員と一対一で話せることもあり、森林の中を散歩しているかのような檜の香りを楽しみながら檜風呂に入浴することができ利用者にとっては楽しい時間にもなっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(ひまわり棟、我が家棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>休息したい方は居室で休ま れている。休息時には様子確 認だけ行っている。夕食後は 見たいテレビをホールで見て 過ごしていただいている。眠 れない方には会話援助を行い 安心して眠れるよう支援して いる。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬 の目的や副作用、用法や用量 について理解しており、服薬 の支援と症状の変化の確認に 努めている。</p>	<p>主治医の指示の下、服薬管 理、介助、確認している。症 状の変化時主治医に相談して いる。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、 嗜好品、楽しみごと、気分転 換等の支援をしている。</p>	<p>生活歴を念頭におき、特技や 趣味を活かした支援を行って 、できる事、出来ないことを 見極め家事手伝い、掃除を行 なっている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力しな がら出かけられるように支援 している。</p>	<p>一人ひとりの要望を聞き取り 買い物、食事にでかけている。 その日の気分に合わせて散歩 、ドライブにでかけている。 グループホーム行事で自衛隊 や地域の行事に家族と共に参 加している。</p>	<p>日常的には事業所周辺の散 歩に出かけており、個別の買 い物等には家族の協力も得な がら対応している。可能な限 り外出は全員参加が出来るよ う取り組まれており、毎年参 加する地域行事や法人行事等 、季節に応じてドライブ等に出 かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこ との大切さを理解しており、一 人ひとりの希望や力に応じて 、お金を所持したり使えるよ うに支援している。</p>	<p>本人が希望した時には家族に 連絡をしている。買い物時に 必要なものを購入している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(ひまわり棟、我が家棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	本人の希望時には家族、知人に電話をかけている。手紙が来た時にはそばで一緒に見たりしている。また、家族から電話がかかって来た時には本人と代わって話しをさせていただいている。運営推進会議の議事録を送るときに写真も送付している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	自然エネルギーを有効に取り入れたジオパワーシステムを導入し、自然に近い環境作りをしている。各居室にエアコンを設置し利用者様に快適な生活を提供し、外壁の塗り替えを行ない美観作り、エントランスの修理を行ない、安全に過ごして頂ける環境作りを行い常に改善するよう心がけている。	共用空間は掃除や温度調節も行き届き明るく、開放感ある食堂兼リビングはワンフロアで見渡すことができる。今後は利用者や仲の良い利用者同士が、職員や他者の存在を気にすることなく過ごせる空間づくりを工夫される。又、遠方の家族の面会の際は和式部屋、寝具が提供され一緒に過ごされ、家族が宿泊できる住環境がある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	実施された行事の写真を掲示板に貼ったり、同じ地区の方の席を近ずけたりして利用者同士の話題のきっかけ作りをしている。気の合う利用者同士の行き来もされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	自宅で使用していた家具や置物を持ってきていただき、自宅と変わらないような違和感のない環境作りを家族と一緒にやっている。	居室にはベッドと洗面台、整理ダンスが備え付けられているが、持ち込みは自由となっており、利用者は馴染みの家具や家族写真、テレビや愛用の寝具などを持ち込むなど、居心地良く過ごせる環境づくりがされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	安全を第一に、利用者を尊重しながら、能力に応じた環境作りをしている。キッチンからホールを見渡すことが出来、配膳、下膳が誰でもできるような作りになっており安全かつできるだけ自立した生活が送れるよう工夫してある。		

西棟			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
			③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の3分の2くらいが
			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

東棟			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 誠心園グループホーム

作成日 平成31年3月28日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議、家族へのグループホームのアピールが出ていない	グループホームのアピールをするため年4回グループホーム便りを発行する。	担当者を決めているので発行できるための写真撮影等の提供をする。	1年
2	5	身体拘束になる玄関の施錠をしている	玄関の施錠をしない。	外に出たい利用者の対応を話し合う。	6か月
3	8	外出、行事の家族の参加が一部の人に限定されているので多くの人に参加して頂く	外出、行事の準備も手伝って頂けるような関係づくり。	年間行事案を年度初めに送っているので行事の前に家族とコンタクトをとる。	1年
4	13	災害対策	緊急時利用者の避難が出来る方法を職員が身に付ける。	防災訓練を行い、いざという時の為にシュミレーションを行うよう周知徹底する。	1年
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。